つ生い活

自

で妄

C

व

1

街

币

地

域

公

共

交

通

協

議会委員

を

募

集

和

3 4 度

0

继

また応援寄附金納入実績を

ビ院護支門保よ安 ス後予援職健う心 にの防をが師、し の防をが師生にし連い て で過ごすことができるで、一ついて知りたい」などとり、高齢者ので、一ついて知りたい」であるが、一切になどの専主任ケアマネジャー、一ついて知りたい」できるが住み慣れた地域で ご住援すみセ き域は

すった。今相 今月談回のく の1日日 のは 心、日さが認号いま え症らをの連 紹介と おしま

は É 覚 が

しあの人し周はつまてとせ知と々くやにづ いっんり方なて囲絶的すい、な症感にいっよく認い認 。る多い特じ増かてるの知**は知** どいの対に る人にな認とく「有始えない失は症**あ症** のがなる知いのものめ、くた敗本の**やの** い人症う人の言ま何な家や人症ま本とやを不は忘わすとる事今で状りに思、心安何れれ。なこやますに たとや、 とをではれてとはでする。 を思うそ配をかがもくおな事苦も初いた。 をいるでは、 をいるでは、 をいるでは、 をいるでは、 をいるでは、 とはながらない。 とはないがらない。 とはないがらない。 とはないがらない。 とはない。 とはないがらない。 とはないがらない。 とはない。 とはないがらない。 とはないがらない。 とはないがらない。 とはないがらない。 とはないがらない。 とはないがらない。 とはないがらない。 とはない。 とはないがらない。 とはない。 とない。 とない る事今こやま

での認によ で知な 苦は症る 3 部 4 域いで 0 地 4 包 続 通

対

定

定

員

費

用

申

め

切

り

持

持

物

問

合

わ

せ 2

FAX

4

4

4

期

お

ょ

び

磁

いせ

T LI な (1 に

かはでまたやう「んにとたをしと病 れ「か大あすめ不や私かな願いしま言院私た私わ切る。の安りがいりう、、ういなは悲は をれ反、な症」。にをしい、にの知た応自いだと」と支をま家行 を おみわ心やて主忘困いて早困 くのれを悲一張れ惑き生くらはかこ表て守しとはてのた活診せない な元いし断

間き今て病友知のあ健な助き受伝 ☆南☆地合まい気達症心る康くにまけえ認か大あ 4 3 - 1 2 0 かまえ 地は大きなができず、支援を にとができず、支援を にとができず、支援を の心情がさまざまです。 をすることが大切です。 もさまざまです。「認知症の方への援 を手伝いながさまざまです。「認知症の方の症状を理解し、さりげるのではなく、 なっただけです。「認知症の方の症状を できず、支援を のがまえ。 のがまえ。 のがまえ。 のがまえ。 のができず、 のがでいるのではなく、 のができず。 のができず、 のができず、 のができず、 のができず、 のがでいるがら、 のができず、 のができず、 のができず、 のがでいるがら、 のがでいる。 のができず、 のがでいる。 すが接でをを

よ業応交 と会り者する 要格委意政を八関た課は、件員見が設街係め題、

っ悲と分怒ない私っえ持す てし言のりんうはててっ。 と現いるみい 応議有民議 · 1/2

分下 う絶核

> や将 酬

を交 一置市機 募換体し地関市可来 集をとて域な・ 行ない公ど公性向 協共市協に事対共

をすべて で内 が在 満 び議会議 たし 7

密て公八接い募街 なな委市 関い員の を他

令**期集**平市を暴2の任員八任る次**募**会和 **人**日税有力以協期で街期方の**資**の が る 係

参 加な でき

任募 6 9 年 月 9 19 3 月日人 18 \ 日 $\widehat{2}$ 年 間

0

わなでは とを戦これらす長8 よれと訴争のまび。崎月 びたもえの式すに両に6 平市原日 __ 惨 は 和 に 爆 は 祈おが広 念い投島 のて下 -さ れ 月 式は、 器に が慰た9 行霊日日

長8にる悲典 崎 月 に6広平さ 原日島和と全 爆午に宣核世 が前原言兵界 投8爆一 下時がをの向 さ15投行廃け ☎ 社 ま

1 6

5 会 0 議 0 出 0 席 円 1 回 9

き

〒郵上付※れに8応の交 ジレ申か持月募公通申募 かて込で参17理共の込方 具あ・現 て・で具あ・現 くメに体り悪在 口か企 画] ド市政だし企的方いの 市政に ホ策さル画にに点市 ・理いの政 できま 課いの政記つ 1 載い今公 °い策 で ム て、後共 す。ペ配 ず課

性「考」企 八 2 送 一 現方: ki ki 画 街 8 先

<u>6</u> d

選

☆企が意性 委熱・ 員 意 将

聞会・来

ま てこ す 捧鐘実没月 よ牲 時 9 げを現者 る合をの日 ごあ こ図祈冥午 福前 とに念 福せ を 7 お黙 祈と い黙 久

指め続て

券在**たで**す 来**だ**。

線け

のる

指き

定っ

3

定いきお窓業

4 会し犠の 3 祉 う 者 間 : 課 。の に りう

普券各

令納を花るる さまった 和入募生 03実っの 度 6 3 年績 て郷納くる て郷 税 くる を 2 5 度 は お や 税 り 個 さ ま度を性ま 入と令たに行豊ざ 実お和応基うかま 績り3援づたでな で年寄いめ活人すり、カタ す度附た 力々 間おたなこのめ附ま画 企願めまと意、金ち2 画い、ちが向寄のづ0

6 納の

本 8 制 3 7 八 7 街 0 市 0 総円 合 計

4 画い

ワ ル F 街 市 民 4 1 5 に基づく「八つの の使い道を指定できるた ができます。より魅力的 を反映した活用を行う ができます。より魅力的 ができます。より魅力的 ができます。よりを ができます。よりを ができるた ができます。 1 1 4 感謝 月 間を実

ん。

団体、旅行業者扱 (特) は (本) と (で) と (を) と (で) と (場住免別と日 への許料しの お証証金て期 持明やで鴨間 ち書健利川

課円以円中 1 1 2 2 上 1 1 4 5

0

0

0

0

0

0

円

優 ク 待 1 ーポン券2

扱 61 0) 適 用 は

IJ

1

1 1

駅

機つ求しをみ みど でぷめたも ど おはい胃、た ちり た まの 買

営は

公企